

だ
い
ば
ん
と
つ
ぶ
る
で

島
の
農
業
を
に
ぎ
や
か
に



栄農園
 代表 栄 友一 (さかえ ゆういち)
 電話 0997-63-1552
 〒894-0504 鹿児島県奄美市笠利町節田 1696-2
 (奄美パーク近く)
 花 (スターチス・トルコ桔梗) の生産・販売

- ① 次々と自慢のとつぷるが並べられていく。
- ② 出されたとつぷるに歓声をあげる子供連れの方も多。
- ③ いろんな賞があるので、たくさんの参加者に賞品が渡される。
- ④ 皆既日食を記念して模様をつけられただ い ば ん と つ ぶ る。

笠利で育ち、花(スターチス・トルコ桔梗)の農家である栄さんはなんとか島をにぎやかにしたいと考えていました。14〜5年前に栄さんが所属する笠利の若い農家の団体、北大島農業青年クラブが海外などで行われているかぼちゃの重量コンテストを島でも行ってみようということから「だ い ば ん と つ ぶ る コ ン テ ス ト」は始まりました。島の言葉で「だ い ば ん」は大きい、「とつぷる」はかぼちゃの意味です。

3月半ばからコンテスト用の苗を2本500円で販売します。最初の頃は農家の方中心に苗を配っていました。「販売できないものを作る意味が分からない」と言われたり、なかなか理解を得られませんでした。そのうち一般の方が面白くなって苗を購入していくようになり、6回目を迎えた今回のエントリーは35名で過去最多だったとのこと。コンテストに使われる苗はアトランティック・ジャイアントという品種で短期間にとんとん大きくなるタイプのものです。ハロウィンの装飾用としても良く使われます。



そのほかにも重量当てクイズやあまり大きくならなかった方にブービー賞となる「ほでらんかった(大きくならなかった)」で賞など様々な賞が送られ、参加者すべてが楽しめる内容となっています。

かぼちゃがどんどん育つ姿にわくわくするという言葉をよく聞きます。栄さんはそれが農業の一番の醍醐味ではないかと語ります。

みんな自分のとつぷるが大きくなっていくこと教えた秘密にしておくのがとっても難しいのだそうです。

まだまだ、参加者が少ないのももっと多くの人が参加して内容も充実させていかなくてはいけないと栄さんをはじめ主催者の農家の方たちは考えています。

ギネス級のとつぷるを作りたい、とつぷるの世界コンテストを開きたいとなかなか大きな目標もあります。

しかしその根底には農業のものづくりは楽しいことを知ってほしい、そしてこんな遊びごころで島を元気にしていきたいという思いがあります。

今年の1位は118kgでこちらまで過去最大でした。